

国保税の値上げを止め子どもの国保税軽減の拡充を求める陳情書

討論要旨 川村つよし議員

陳情書の内容は、国民健康保険税の減額を求めるものです。所得に対して負担が重い国保税の減額を求める声上がるのは当然のことだと考えます。

多くの方が国保税が高いということを実感するのは、定年退職したときや失業したときだと思います。前年の所得によって課税されますから、収入が減った状態で、さあこれから退職金や貯金で暮らしていかなければならない、節約しなければならぬ、そう考えているところに国保税を支払うよう市からお手紙が届き、金額を見て驚き、目をむいて、のけぞりそうになる。議員の皆さんには、市役所が計算間違いをしているのではないかと市民から問合せをいただいた経験もあるのではないのでしょうか。

国保税については、2020年度の決算書附属資料である主要施策成果報告書59ページにも記載がありますが、令和3年から令和5年にかけて段階的に見直しをすると、3年連続の値上げ宣言と取れる文言が記載されています。予算書も示されていないのに決まったことのように書いてあるのは不愉快です。

陳情の趣旨説明では、所得の低い方のほうが所得に対する負担割合が高いという話が紹介されました。高過ぎる国保税を引き下げるために陳情書に賛成しますが、コロナ禍が続いています。仕事を失った方はどうされているのでしょうか。コロナの影響が続く間は、少なくとも値上げをしない、それも景気対策となる施策です。値上げが必要だと考えるほかの議員の皆さんも、少なくとも今は値上げすべきではないと陳情に賛成することを呼びかけ、賛成討論といたします。